

Q&A

Q. レジデント修了後の就職先は？

A. これまでのほとんどのレジデント修了生が当院薬剤部の特定有期職員として入職しました。

Q. 認定や専門薬剤師の取得に支援は？

A. 当薬剤部では認定や専門薬剤師の取得を推奨していますので、取得に必要な申請費用や講習参加費用等を支援しています。

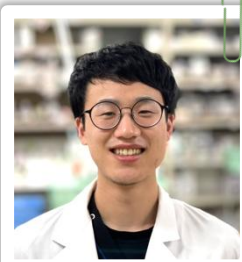
Q. レジデントに求められる人物像は？

A. 患者のために薬剤師として何ができるかを自身で考え、自主的に行動できる人が望まれます。また、自己研鑽のモチベーションの高さも大切です。

Q. レジデント期間中の研究はどのように行うの？

A. テーマは自身で考えたものや薬剤部職員から提案されたもので行います。研究メンターが計画から実施、解析、発表までをサポートします。

先輩からのメッセージ



2022年レジデント修了
修了後勤務年数 4年目
病院薬学認定薬剤師

高橋 慶

研修1年目は様々な部署を経験しました。2年目に私は糖尿病腎臓病専門コースを選択し、糖尿病内分泌内科病棟やNEST（当院の栄養サポートチーム）での研修を経て、現在は病院薬学認定薬剤師を取得後、病棟薬剤管理業務を中心に業務・教育・研究に取り組んでいます。



2023年レジデント修了
修了後勤務年数 3年目
病院薬学認定薬剤師

古江 由依

まずは臨床のジェネラルな知識を身に付けたいと考えていた私にとって、当プログラムはまさに理想でした。2年間で多様な診療科の病棟業務を経験することができ、処方を俯瞰的に捉える力を養うことができました。また、研究面でも先生方にご指導いただき、学会発表でも賞を受賞することができました。



2025年レジデント修了
修了後勤務年数 1年目

佐伯 龍之介

私は基礎を鍛えながら自らの視野を広げたいと考え、当プログラムを志望しました。2年間で様々な部署やICTなど専門領域での活動を経験し、教育・研究活動にも携わることができました。現在は資格の取得を目指しながら、職員として病棟業務を中心により良い薬物治療へ貢献すべく日々研鑽に励んでいます。



2025年レジデント
(1年目)

石田 朋奈

1年目は幅広い部署を経験し、業務全体を体系的に把握するとともに、症例報告を通じて薬物治療を振り返ることで視野や知見を広げることができました。また、チーム医療や研究活動にも参画し、より質の高い薬物治療に貢献できるよう励んでいます。

プログラム詳細

スケジュール詳細、レジデントプログラムの概要、Kobe-PRSについては神戸大学医学部附属病院薬剤部オリジナルホームページをご確認ください。下のQRコードから読み取ることもできます。応募前には必ずご確認ください。
<http://www.hosp.kobe-u.ac.jp/yakuzai/>

問い合わせ先

神戸大学医学部附属病院薬剤部（担当：大村）
〒650-0017 神戸市中央区楠町7-5-2
TEL: 078-382-5111

神戸大学医学部附属病院薬剤部オリジナルホームページ



Facebookアカウント



Instagramアカウント



神戸大学医学部附属病院薬剤部
Department of Pharmacy, Kobe University Hospital

薬剤師レジデントプログラム





薬剤部の概要

スタッフ

薬剤師 定員77名
神戸大学薬剤師レジデント 5名
神戸薬科大学薬剤師レジデント 2名
事務補佐員・技能補佐員 8名
派遣職員 2名
委託職員 3名
(2025年11月1日現在)

認定・専門薬剤師

■ 日本医療薬学会／医療薬学指導薬剤師
■ 日本医療薬学会／医療薬学専門薬剤師
■ 日本医療薬学会／がん専門薬剤師
■ 日本医療薬学会／薬物療法専門薬剤師
■ 日本病院薬剤師会／病院薬学認定薬剤師
■ 日本病院薬剤師会／感染制御専門薬剤師
■ 日本病院薬剤師会／感染制御認定薬剤師
■ 日本病院薬剤師会／HIV感染症薬物療法認定薬剤師
■ 日本病院薬剤師会／妊婦・授乳婦薬物療法認定薬剤師
■ 日本病院薬剤師会／認定指導薬剤師
■ 日本薬剤師研修センター／認定薬剤師
■ 日本薬剤師研修センター／認定実務実習指導薬剤師
■ 日本薬剤師研修センター／小児薬物療法認定薬剤師
■ 日本薬剤師研修センター・日本生薬学会／漢方・生薬認定薬剤師
■ 日本臨床薬理学会／指導薬剤師
■ 日本臨床薬理学会／認定薬剤師
■ 日本臨床薬理学会／認定CRC（薬剤師）

■ 日本緩和医療薬学会／緩和医療専門薬剤師
■ 日本緩和医療薬学会／緩和薬物療法認定薬剤師
■ 日本緩和医療薬学会／緩和医療暫定指導薬剤師
■ 日本老年薬学会／老年薬学指導薬剤師
■ 日本老年薬学会／老年薬学認定薬剤師
■ 日本臨床救急医学会／救急認定薬剤師
■ 日本臨床救急医学会／救急専門薬剤師
■ 日本化学療法学会／抗腫瘍化学療法認定薬剤師
■ 日本医薬品情報学会／医薬品情報専門薬剤師
■ 日本リウマチ財団／リウマチ登録薬剤師
■ ICD制度協議会／インフェクションコントロールドクター
■ 日本アンチ・ドーピング機構／公認スポーツファーマシスト
■ 日本臨床栄養代謝学会／栄養サポートチーム専門療法士
■ 日本糖尿病療養指導士（薬剤師）
■ 日本循環器学会／心不全療養指導士
■ 日本臨床試験学会／認定がん臨床研究専門職

のべ133名

神戸大学医学部附属病院薬剤部の4つのミッション

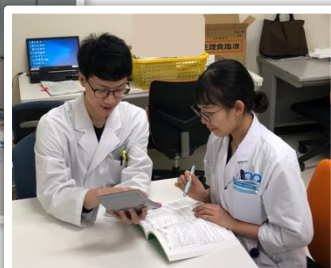
患者中心のチーム医療を実践する

- ✓ 薬剤師業務を地道に行う
- ✓ 業務の効率化と新規業務の開発
- ✓ 安全性と経済性のバランス感覚を養う



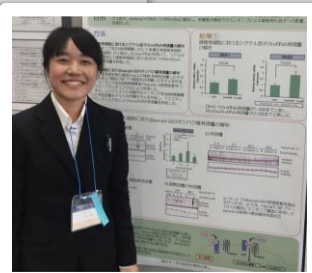
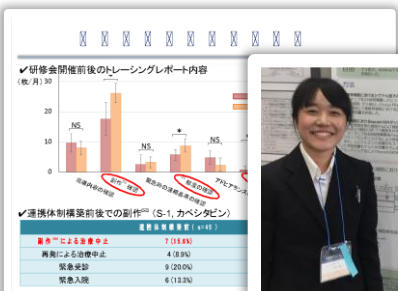
10年後の医療を牽引する薬剤師を育成する

- ✓ 薬学部卒前教育への貢献
- ✓ 初期レジデント制度の充実
- ✓ 認定・専門薬剤師及び学位取得の支援



明日の薬物治療に変化をもたらす

- ✓ 薬剤業務の科学的評価
- ✓ 計画的な学会発表
- ✓ 研究成果の論文化



兵庫県に貢献する

- ✓ 認定施設として研修生の積極的受入れ
- ✓ 地域での勉強会や活動の推進
- ✓ 人材確保と人材交流



レジデントプログラム 2027年度よりプログラムが変わり2年間のコースに1本化します！

①体系的で充実した教育内容

- ・1年目：セントラル業務を含む基礎的臨床能力を確実に習得
- ・2年目：病棟業務研修により、高度な実践力・対応力を獲得

②バランスの取れた研修とサポート体制

- ・セントラル業務と病棟業務を段階的に、しっかり経験できる
- ・幅広い領域を網羅した充実のプログラムとメンターサポート

高い実践力を持って修了

2年間で着実にスキルアップし、レジデント修了後は自信を持って現場（当院等）で活躍できる

卒直後薬剤師臨床研修プログラム

スケジュール

1年目	第1クール						第2クール					
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
中央業務研修	調剤 (2)		調剤 (1.5) 製剤 (0.5) 通院 (2)				調剤 (1.5) 通院 (1.5) DI/TDM (0.5)				調剤 (1) 通院 (1)	
病棟業務研修					病棟・ICU見学						病棟研修①	
時間外業務							夜勤サポート・日勤・午前勤スタート				夜勤・午後勤スタート	
新人教育セミナー	講義・自己学習 (OJT、治験含む)											
チーム医療							緩和 (1)、NEST (1)、ICT (1)、OPE (0.5)					
症例検討会/スキルアップ	スキルアップセミナー：毎週、症例検討会：毎月											
臨床研究			研究テーマの選定			計画書作成	研究検討会	データ収集・解析				
症例レポート									ICT 1症例	ICT 1症例	1症例	1症例
Kobe-PRS	到達度評価 (毎月)											
2年目	第3クール						第4クール					
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
中央業務研修	調剤 (1) 通院 (1)						調剤・通院/病棟/薬剤師外来のローテーション ※状況によっては、3年目以降の部署配属の準備としての業務に従事する可能性もあり (在宅訪問・薬局研修を含む)					
病棟業務研修	病棟研修② (中央業務と兼任)		病棟研修② (外科 (3.5)・内科 (1.5))									
時間外業務	夜勤サポート・日勤・午前勤・午後勤・夜勤											
新人教育セミナー	講義・自己学習											
症例検討会/スキルアップ	スキルアップセミナー：毎週、症例検討会：毎月											
臨床研究	テーマ再検討	データ収集・解析					学会発表・論文の準備					学会発表
症例レポート	1症例	1症例	1症例	1症例	2症例	2症例						
Kobe-PRS	到達度評価 (毎月)											

調剤：内服/外用/注射薬調剤、製剤：院内製剤/無菌調製、通院：外来化学療法室、DI/TDM：医薬品情報室とTDM室、OPE：手術室、ICU：集中治療室、NEST：栄養・輸液サポートチーム、ICT：感染制御チーム。各スケジュールの研修の後の数字は、従事するおおよその月数を示す。

ここがPOINT!!



研究

- ✓ 疾患や薬効に関わる研究のみならず、薬剤部としての取り組みに関するテーマも

Kobe-PRSとは？

薬剤部各部署で設定した学習成果に基づく3段階ルーブリック表です。この評価表の適用により業務に必要な知識と技能を効率的に習得することができます。

Kobe-PRS 研修部署名：調剤室・薬品管理室 研修目標：適切な安全な薬物治療が実施されるように調剤を行うことができる

観点	レベル		
	3 (理想的な薬剤師レベル)	2 (研修終了時に期待されるレベル)	1 (研修開始2週間程度かけて到達するレベル)
内服・外用・注射薬の処方監査・疑義照会	必要に応じてカルテから患者背景や病態等の情報を収集し、それらを考慮した上で、処方内容が適切であるかどうかを評価し、疑義照会を含め適切な処方提案ができる。	処方箋の基本的な記載事項が適切であるかどうかを判断し、不備があった際に疑義照会を行うことができる。	処方箋の基本的な記載事項が適切であるかどうかを判断することができる。
内服・外用・注射薬の処方に基づく調剤	—	一包化、錠剤の粉碎、剤形選択、配合変化の回避、安定性の確保等、工夫を必要とする調剤について、添付文書、インタビューフォーム、各種書籍等を用いて適切に判断し、調剤を行うことができる。	計数、計量調剤(散剤、水剤、外用剤)を内規に沿って正確に行うことができる。